

修学支援法第7条第2項に基づく確認申請書（様式第2号）

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	函館臨床福祉専門学校
設置者名	学校法人西野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門	介護福祉士科	夜・通信	330	160	
	社会福祉科	夜・通信	240	240	
(備考) 2019年4月より社会福祉科は募集停止					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(介護福祉士科) <a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/11_hcw_jitsumukeiken_kyoin_kamokuichiran.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/11_hcw_jitsumukeiken_kyoin_kamokuichiran.pdf</a> (社会福祉科) <a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/12_hsw_jitsumukeiken_kyoin_kamokuichiran.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/12_hsw_jitsumukeiken_kyoin_kamokuichiran.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	函館臨床福祉専門学校
設置者名	学校法人西野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/2019\\_6\\_officer\\_list.pdf](https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/2019_6_officer_list.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学生会館経営	2016.06.01 ~ 2020.05.31	学生生活サポート
非常勤	病院副院長（医師）	2019.06.01 ~ 2020.05.31	教育指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	函館臨床福祉専門学校
設置者名	学校法人西野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設(病院等)の要望を把握し教育課程編成委員会において慎重に議論を行う。特に就職施設企業(病院等)の要望については、西野学園本部学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報収集し意見交換を行う。その結果を学科会議、教育課程編成委員会等で報告し教育課程編成に反映させる。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、学園内の「わかる授業推進委員会」により検討され「西野学園授業計画(シラバス)作成ガイドライン」が作成されている。この内容は学園HPでの公表及び学内研修により全教員に周知する。作成されたシラバスは、年度当初に印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園HPにより学生に提示する。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>(介護福祉士科)</p> <p><a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/11_hcw_2019syllabus.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/11_hcw_2019syllabus.pdf</a></p> <p>(社会福祉科)</p> <p><a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/12_hsw_2019syllabus.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/12_hsw_2019syllabus.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成績の評価は、定期試験(論文含む)、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料(レポート等)に基づいて総合的に行う。</p> <p>科目の成績の総合評価は、100点法をもっておこなう。総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格とする。(秀:100点~90点、優:89点~80点、良:79点~70点、可:69点~60点、不可:59点以下)</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園HPにより学生に提示する。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年間の成績評価の指標として、「総合評価の平均(総平均)」を算出する。総平均は、シラバスの「成績評価のしかた」に記載された方法で総合評価された各科目の成績(100点満点)について、当該学年全科目分を平均することで求める。</p> <p>学生個々の成績状況については、当該学生の総平均及び学科ごとの総平均の順位を算出し、出席・成績一覧表及び個別面談により本人及び保護者に通知している。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/hakodate_kihonjyohou20190708.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/hakodate_kihonjyohou20190708.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育課程編成委員会並びに学科会議において卒業認定の方針(ディプロマポリシー)を定め、公表している。</p> <p>校長は、学則に定められた当該学年に履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、進級を認める。また、当該学科所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業を認める。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/hakodate_kihonjyohou20190708.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/hakodate_kihonjyohou20190708.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	函館臨床福祉専門学校
設置者名	学校法人西野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/2018th_jigyokatudou_houkokusyo.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/2018th_jigyokatudou_houkokusyo.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	介護福祉士科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,031 単位時間/単位	1,125 単位時間	450 単位時間	456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		2,031 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		31人	3人	4人	11人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>（概要）</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設（病院等）の要望を把握し教育課程編成委員会において慎重に議論を行う。特に就職施設企業（病院等）の要望については、西野学園本部学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報収集し意見交換を行う。その結果を学科会議、教育課程編成委員会等で報告し教育課程編成に反映させる。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、学園内の「わかる授業推進委員会」により検討され「西野学園授業計画（シラバス）作成ガイドライン」が作成されている。この内容は学園HPでの公表及び学内研修により全教員に周知する。作成されたシラバスは、年度当初に印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園HPにより学生に提示する。</p>
---

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学習成績の評価は、定期試験（論文含む）、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料（レポート等）に基づいて総合的に行う。</p> <p>科目の成績の総合評価は、100点法をもっておこなう。総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格とする。（秀:100点～90点、優:89点～80点、良:79点～70点、可:69点～60点、不可:59点以下）</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園HPにより学生に提示する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>教育課程編成委員会並びに学科会議において卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p> <p>校長は、学則に定められた当該学年に履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、進級を認める。また、当該学科所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業を認める。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようサポートする。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	7人 (87.5%)	1人 (12.5%)
(主な就職、業界等)			
・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問介護事業、デイサービスセンター			
(就職指導内容)			
入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次にはオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
介護福祉士 8名受験 8名合格			
(備考) (任意記載事項)			
・日本介護福祉士養成施設協会 会長賞			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	7人	25%
(中途退学の主な理由)		
家庭の事情、健康上の理由、進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組)	
<p>学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートする。また、担任教員等が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聴き、より良い解決法を共に考えていくほか、経済面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。</p>	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	社会福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,306 単位時間/単位	1,950 単位時間	690 単位時間	666 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3,306 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		24人	0人	4人	16人	20人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設(病院等)の要望を把握し教育課程編成委員会において慎重に議論を行う。特に就職施設企業(病院等)の要望については、西野学園本部学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報収集し意見交換を行う。その結果を学科会議、教育課程編成委員会等で報告し教育課程編成に反映させる。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、学園内の「わかる授業推進委員会」により検討され「西野学園授業計画(シラバス)作成ガイドライン」が作成されている。この内容は学園HPでの公表及び学内研修により全教員に周知する。作成されたシラバスは、年度当初に印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園HPにより学生に提示する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学習成績の評価は、定期試験(論文含む)、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料(レポート等)に基づいて総合的に行う。</p> <p>科目の成績の総合評価は、100点法をもっておこなう。総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格とする。(秀:100点~90点、優:89点~80点、良:79点~70点、可:69点~60点、不可:59点以下)</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園HPにより学生に提示する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>教育課程編成委員会並びに学科会議において卒業認定の方針(ディプロマポリシー)を定め、公表している。</p> <p>校長は、学則に定められた当該学年に履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、進級を認める。また、当該学科所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業を認める。</p>

学修支援等
「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようサポートする。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、訪問介護事業			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次にはオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士 14名受験 14名合格 社会福祉士 57名受験 4名合格			
(備考)（任意記載事項） ・日本介護福祉士養成施設協会 会長賞 社会福祉士の受験資格は卒業後、実務経験1年が必要なため、受験者数・合格者数は過年度生の数字。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートする。また、担任教員等が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聴き、より良い解決法を共に考えていくほか、経済面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉士科	200,000円	700,000円	170,000円	
社会福祉科	200,000円	730,000円	170,000円	

<p>修学支援（任意記載事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子弟入学者支援制度 本校在学学生または卒業生の親・子・兄弟・姉妹で、本校へ入学した方に対して授業料の一部を減免する制度</li> <li>・特別経済支援制度 修学意欲が高く成業の見込みがある方で、個人住民税所得割が非課税の世帯など経済的な理由により就学困難な事情のある方を対象に支援する制度</li> <li>・西野学園学費支援制度 経済的理由から学校納付金納入が困難な状況で、学業成績が平均水準以上で日常の生活態度が良好な方に対して支援する制度</li> <li>・遠距離通学サポート制度 遠距離のため経済的に進学が困難な方を対象として、通学に係る経済的な配慮を行う制度</li> </ul>
---

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/4_hakodate_hyouka201903.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/4_hakodate_hyouka201903.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>学校関係者評価会議には、学識経験者（元高等学校校長）、社会福祉法人施設長（介護実習等及び就職先施設）、福祉関係有識者（大学講師）、卒業生（函館市介護保険課勤務）など委員選定基準に合わせて計4名を外部から招聘して行う。</p> <p>学校関係者評価委員会は年2回の会議を実施し、学校運営・教育活動・学修成果などの自己点検と評価を行い、その中で議論された内容・意見に関して委員の皆様へ評価いただきまとめたものをホームページ上に公開し、そのことにより評価の客観性と透明性を高めている。</p> <p>また、委員から頂いた学習環境の整備・充実等の意見を学校運営に反映するよう、職員会議内で報告、年度ごとにその実践を反省し翌年の教育計画に盛り込んでいる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
国立大学法人北海道教育大学教育学部函館校国際地域学科 講師	2018年4月1日～ 2020年3月31日 (2年)	大学教員
社会福祉法人侑愛会 侑愛荘施設長	2018年4月1日～ 2020年3月31日 (2年)	企業委員等
函館市介護保険課 認定調査員	2018年4月1日～ 2020年3月31日 (2年)	卒業生
元北海道函館水産高等学校校長	2018年4月1日～ 2020年3月31日 (2年)	元校長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/4_hakodate_hyouka201903.pdf">https://nishino-g.ac.jp/wp-nishino/wp-content/uploads/2017/09/4_hakodate_hyouka201903.pdf</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://nishino-g.ac.jp/hako/>